

身近な自然環境・歴史的文化的環境・生活環境を保全・回復・創成する

NPO 法人すいた市民環境会議

2014年4月 第92号

# 吹田の郷

発行/NPO 法人すいた市民環境会議 会長/小田忠文 ホームページ<http://www3.big.or.jp/~sskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日  
事務局/〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目8-28-106 中村小夜子 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 編集/会報委員会  
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便振込口座番号/00980-3-28845



## 目次

1. 表紙
2. 会長コラム
3. 表紙の絵を描いて
4. すいた環境フェスタ2014
5. 大震災復興支援チャリティイベント
6. 環境楽座(6)飽食から崩食の時代の今
8. 変わりゆく吹田のまち(4)北千里
9. あルック吹田調査会「北千里コース」
10. ちっちゃな草原 生物多様性のホットスポット
12. 関大生のエコクッキング 買物のポイント
13. 吹博観梅の会&くわい保存会北村さんを偲ぶ
14. 総会案内と「シャボン玉フォーラム」案内

# 春夏秋冬

会長 小田忠文

すいた市民環境会議(以下、当会)の会員のみなさんは「あろっく吹田」をご存知でしょう。当会のまちなみ委員会は「あろっく吹田」の次回改訂号を作るための散策調査会をしています。(9頁参照)▲「あろっく吹田」の歴史をふり返ってみると、生みの親は大木調査でした。1997年当会の発足直後、「市民が誰でもできる調査は何か?」と考えて最初に取り組んだのが市内にある幹周り2mを超える木を数える大木調査でした。調査の結果、大木が神社や寺、民家にもあり、人と深くかかわっていることが見えてきました。そのかかわり方や背景にも目を向けて歩くと吹田の良いところが見えてくることに気がつきました。▲当時の理事の一人が「市民が遠くへでかけなくても、市内を歩いて、ゆとりや潤いを感じることができるといいね」と言っていたことを考え合わせて、報告書としての冊子に、大木と周辺のまちを半日で歩くための13のコースを紹介しました。これが「吹田の観光マップ あろっく吹田」の原型となりました。▲20世紀最後の年に吹田市の委託を受け「2000年の吹田の様子を記録に残そう」「市民のための観光マップを作ろう」と市内の散策を35回、2000枚の写真を撮り、吹田市と協働して、翌年吹田の観光マップ「あろっく吹田」を発行したのでした。▲その後の14年間、吹田のまちは絶え間なく変化していました。尺谷にあった日本生命の団地や千里丘の毎日放送の広大な敷地は宅地になりました。片山の旧国鉄官舎は大和大学になりました。千里ニュータウンでは順次建て替えが進んでいます。

2000年には吉志部神社前付近だけだった道路(市道千里丘豊津線)も貫通しました。吹田操車場跡地が吹田貨物ターミナル駅になりました。今年夏には千里丘で徳洲会病院が開業します。やがて市民病院と国立循環器病研究センターがJR岸辺駅北側に移り、さらに2018年には現在の城東貨物線にJRひがし大阪線が開通し南吹田に(仮称)西吹田駅ができます。▲このように変化しつづけるまちに対応するため「あろっく吹田」は初版以来2011年までに大小あわせて6回の改訂をしました。初版は32頁だったものが最新版は40頁にまでにふくらんでいます。▲2001年からまちなみ委員会は「あろっく吹田」で紹介した市内のコースを、順次散策していきました。やがて市役所の他部署でも散策マップを作りだし今では数種類のマップができています。浜屋敷では「まち案内人」がうまれて、小グループで依頼すれば市内の好きなコースを案内してもらえるようになりました。さらに吹田にぎわい観光協会もできました。▲自分の住むまちを歩くと、車で走っていたときとはまったく違った景色に出あえます。ときに人とのつながりもできます。自分の住むまちを知ることでもまちの良さを再発見してもらうことが「あろっく吹田」の基本的考えなのです。▲初版の案内文に私は「当会は設立当初から遠くの地に出かけて憩う場を求めるより、自分の住む吹田で憩えるようにしたい、新しく住人になった人にもっと吹田を知って好きになってほしい、との思いをこめて“観光マップ”を作りました。」と書きました。▲まだ吹田市内を散策したことのない人も、したことがある人も消費税が上がった今年は自分の健康のためにも自分の住むまちを“あろっく”してみることもいいのではないのでしょうか。

<表紙の絵>

吹田の風景シリーズ(26)

## 千里南公園から竹見台の高層住宅を望む

千里南公園は阪急南千里駅西北のすぐそばにある公園だ。スケッチに行ったのは春のお花見時期よりも早かったがたくさんの幼稚園児でにぎやかだった。また、池のそばでは釣り糸を垂らす人、カメラで野鳥を撮影する人たちが賑わっていた。

千里南公園は千里ニュータウンの一番先に建設着手したまち佐竹台(1961年着手)に先駆けて整備された公園で、公園にある池は昔からあったもので、牛の首の形に似ていることから「牛ヶ首池」と呼ばれてきたそう。

正面には竹見台団地の14階Y字型平面の高層のスターハウスがあり、池にその姿を映している。左手公園背後の駅前には商業施設やホテル、そしてニュータウン50周年を記念してできた千里ニュータウンプラザがある。

またここから見た景観は千里ニュータウンのシンボリックな景観として「千里八景」に選ばれたこともある様々な遊びが楽しめる人気の公園である。

(表紙の絵と文: 画楽多工房 増野 暁)

# 「表紙の絵を描いて」

画楽多工房 増野 暁

2009年の秋、千里山・佐井寺図書館復元教室で毎年開かれる九彩会の展覧会にすいた市民環境会議で会報を担当されている松岡さんが来られ、だれか表紙絵を描いてもらえる人がいないだろうかというお話がきっかけで、2010年2月(第67号)から「吹田の風景」をテーマに26回にわたって掲載させていただきました。

最初の掲載号に「私は25年近く吹田に住み、スケッチをはじめから15年以上が経過します。しかし、吹田の街をほとんど知りませんし、ほとんどスケッチしたことがありません。そんなことで『あलック吹田』という観光マップを持って吹田を歩き、見て、吹田の魅力を絵にしてみることにしました」と書いています。

振り返ってみますと概ね吹田の風景・魅力を次のように捉え、描いてきたような気がします。

- ①佐井寺や山田、旧岸部、旧吹田村などの古くから残されているまちなみ
- ②日本民家集落博物館や吹田歴史文化まちづくりセンター(浜屋敷)、旧西尾家住宅などの古い建物の再生と活用

③関西大学、大阪大学、大阪学院大学、千里金蘭大学などの大学のまち

④万博公園の施設と緑豊かな公園

⑤千里北公園や青山公園、千里南公園などの千里ニュータウンのオープンスペースの景観

⑥アメニティ江坂、大同生命、吹田駅前などの再開発で生まれた景観

⑦神社や教会などの地域の祈りの場

などを描いたと思います。また、市民に最も身近な駅周辺や商店街のにぎわいや景観を描いていなかったなあと反省しています。

とにもかくにも、約4年半と長きにわたり表紙につたない絵を飾らせていただきありがとうございます。また、スケッチの水先案内になった「あलック吹田」や吹田関連のホームページの解説文に支えてもらったことに感謝いたします。

またスケッチした絵のいくつかはホームページに掲載していますのでご笑覧下さい。

(「ひまつぶし画楽多」で検索してください)

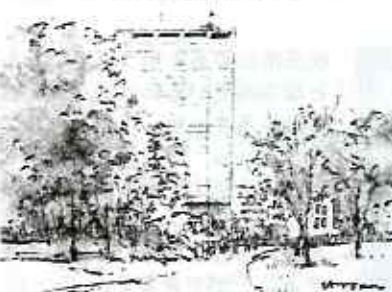
## 吹田の郷 表紙の絵 一覧



旧岸部東村のまちなみ



日本民家集落博物館



江坂公園と大同生命ビル

1	第67号	2010年2月	棚田と古い民家の残る佐井寺界隈
2	第68号	2010年4月	千里北公園から千里中央を遠望
3	第69号	2010年6月	日本民家集落博物館
4	第70号	2010年8月	阪大病院
5	第71号	2010年10月	大阪学院大学
6	第72号	2010年12月	千里金蘭大学
7	第73号	2011年2月	国立民族学博物館
8	第74号	2011年4月	EXPO'70パビリオン
9	第75号	2011年6月	万博公園 大阪日本民藝館
10	第76号	2011年8月	万博公園 自然観察学習館
11	第77号	2011年10月	旧岸部東村のまちなみ
12	第78号	2011年12月	山田東のまちなみ
13	第79号	2012年2月	旧吹田村のまちなみ
14	第80号	2012年4月	吹田歴史文化まちづくりセンター
15	第81号	2012年6月	旧西尾家住宅
16	第82号	2012年8月	江坂公園と大同生命ビル
17	第83号	2012年10月	アメニティ江坂 庭園と美術館
18	第84号	2012年12月	青山公園から青山台小学校方面を望む
19	第85号	2013年2月	江坂神社
20	第86号	2013年4月	関西大学簡文館(博物館)
21	第87号	2013年6月	関西大学涼風館
22	第88号	2013年8月	メロード吹田
23	第89号	2013年10月	大阪ハリストス正教会
24	第90号	2013年12月	千里山佐井寺図書館
25	第91号	2014年2月	泉殿宮
26	第92号	2014年4月	千里南公園から竹見吉の高層住宅を望む

# すいた環境フェスタ 2014

理事 田中隆三（すいた環境フェスタ実行委員長）

2月8日(土)阪急山田駅東にある「夢つながり未来館」ですいた環境フェスタ 2014 が開かれました。例年は6月に「すいた環境教育フェア」としてメイシアターでの開催でしたが 2013 年度は中止となったので、名前を変え2月開催となりました。21 団体が参加し、前日降った雪が残る寒々しい日で、参加者の出足を控くのではと心配されたが、総勢 786 名を数え危惧に終わった様でした。

当会場では、1階、3～5階での展示、6階での環境学習研究発表会と会場が縦層となり、移動に難点があったが、児童にとっては支障とならなかったようでした。

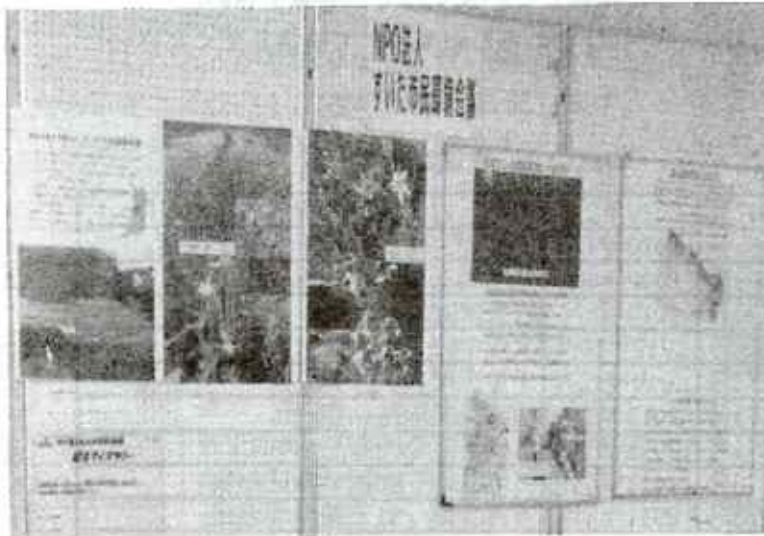
今回当環境会議では「すいたの希少種」「吹田市のヒメボタル」を展示し、吹田に残る貴重な自然を紹介した。



また、同時に吹田市天然記念物第1号である“ヒメボタル”の標本(源氏・平家ホテルとの対比)棲息分布箇所・調査結果など長年の棲息観察結果を紹介しました。

ホテルへの関心は、当会場に近い参加者が多かった性なのか、比較的高く“何処へ行けば観られますか？”“いつ頃観られますか？”などの質問が多かった様に思われた。

都市化が進んだ市内の住環境にあつて、これらを紹介する事により、僅かに残された開発以前の自然環境、夏の風物詩である夜空を飛び交うホテル火、また街角に残された草地の中に、希少性が高く珍しい植物に関心を持って貰い、絶滅を防ぐのに少しでも役立って欲しいと願っている。



「吹田の希少種」では、吹田の野草マップを作成以来、野草観察会などを通じ、市内の空き地、堤防、傾斜地など草地の植生環境を観察してきた。

その中 大阪府で70年ぶりに再発見された「ヤマサギソウ」が契機となり、都市開発により絶滅したものと思われていた野草が次々に発見された。そこで吹田市内で確認された希少種植物「ヤマサギソウ」「イヌセンブリ」「スズサイコ」に加え、美しい花「ウツボクサ」を写真で紹介した。(各希少種野草の詳細は10頁参照)

これらの希少植物は開花時期・分布箇所また他の草にまぎれて生えているなど、一般的に確認する事が困難で、専門家の案内が必要で観察会などによる普及が必要であろう。

当会のほかに、吹田地学会、すいた環境学習協会、アジェンダ 21 すいた、まちなか水族館市民ボランティア、ガールスカウト大阪府第 21 団、ロボットストラップ工作教室、生活協同組合コープこうべ、ジュゴン保護キャンペーンセンター、大阪府立北千里高等学校科学部、千里金蘭大学生生活科学部児童学科、日本貨物鉄道(株)関西支社が展示をしました。



吹田市のゆるキャラ“すいたん”とならんでいるのは鉄道貨物協会のゆるキャラ“エコレールマークちゃん”です。貨物鉄道を一定割合以上利用している商品は、「エコレールマーク」の認定を受けられ、商品にその表示をすることができます。環境にやさしい輸送の証明です。

# 東日本大震災復興支援チャリティーイベント

## 大震災から3年「3.11」を忘れない！

### ～学ぼう広めよう吹田の防災～

まちなみ委員 下村敬三

2011年3月11日 東日本大震災発生から、3年が経とうとしている。震災の同年4月4日に、47団体による、「復興支援すいた市民会議」(以下ふくすい会)が立ち上がる。それ以後、毎月定例会議を開催し、吹田に避難されている方の支援が始まった。

避難者の皆様との昼食会、市内の至る所でチャリティーイベント、会のメンバーによる現地視察、被災地を考えるパネル展等行ってきた。

震災から、約3年になる、2014年3月9日(日) 11時～16時、内本町コミュニティセンターで、ふくすい会の主催で、吹田市危機管理室の防災グッズ展示、過去2回ラコルタ、市役所ロビーで展示したふくすい会のパネル展示、“おのくん(右欄参照)”, グーチョコキパン屋さん、ハッピー&スマイル、ガーネット宮城、バルン・アート、千里竹の会、等のブースを設置した。当すいた市民環境会議では、19年前の淡路阪神大震災、3年前の東日本大震災の写真集、パネル展示をして、“あの日のことを忘れずに防災に備えよう”といつか来るだろうといわれる南海トラフに備えて、防災・減災を考えようと訴えた。



12時半ごろから正面ステージで「吹田の風プロジェクト」7～8チームのメンバーによる各々素晴らしいライブが最後の16時まで続きました。



途中、危機管理室による「守る」「知る」「備える」東日本大震災が教えてくれた防災・減災のお話があった。

また宮城県女川市の中学生の作文朗読があり“まげねっちゃ 負けないで前へ進もう”の意気込みが語られました。

会場は約50人分の椅子が用意され、朝から最後まで子供たちも含めて多数の参加者がありました。

当会は、小田会長、おのくんいや大野理事の参加、小田信子理事の差し入れがありました。

(写真下 大野理事と小田会長、それにおのくん)



#### おのくん

宮城県東松島市で津波で住居を流され「小野駅前応急仮設住宅」に入った人たちが、くつしたから手縫いでつくるキャラクター人形。

「里子として人形一体を千円で引き取り、将来里帰りして地域にお金を落としてください」という運動です。

最後に、ふくすい会の谷川会長から吹田における東日本復興支援をまだまだ一人一人拡げていきましょうとの挨拶があり閉会となりました。



集められた募金はガーネット宮城に送られました

ステージのオープニングは「吹田の風」というオリジナル曲

第6回 2013年11月26日(火)

## 飽食から崩食の時代の今

やすだなおこ  
講師：安田直子さん  
千里金蘭大学名誉教授



いよいよ最後の講座。安田先生は多くの図表を示しつつ、食の歴史から今の食の問題までを解きあかしていかれました。ちょうど和食が世界文化遺産に登録なるかという時期で、先生からの「和食とは？」というアンケートに記入しながら、参加者はあらためて自らの食を振り返りました。

### ◆人類の食の歴史から

地球の歴史は46億年。今の動植物層が出現したのは4500万年前。500～450万年前に人類誕生。そして200万年前の火の発見が画期的でした。咀嚼により消化が進んで食域が拡大していきました。嘔むことにより頭脳が大きくなり、社会を形成するようになりました。4万年前にホモサピエンスは言葉を得て発展し、1.1～1.2万年前に農業を始め、牧畜が行われて定住化が始まりました。これが農業牧畜革命で、生きてままで貯蔵する方法を発見したことになります。栽培、飼育しないと地球上では500万人程度しか生きられないといわれています。4500年前に四大文明発祥、50～60年前から原子力時代が始まり、遺伝子組み換え開始、宇宙へ、地球温暖化へととなります。人類の歴史に比して、この現代の変化は大き過ぎると思いませんか。

### ◆日本の食の変遷

縄文土器は世界最初の煮沸用鍋釜で、日本の食の茹でる煮る調理、季節を感じる料理はここが原点です。焼畑による原始農耕が縄文後期に行われ、弥生時代にかけて稲作が伝来。和食の主食(米飯)と副食の区別ができあがりました。

古墳文化時代、余剰米を持つと富や権力が発生。リーダーが出現することで国が成立してきます。米が国家をつくったということです。水田稲作は天候に左右されるので、神の存在が意識され、神殿、神人共食(直会)などの祭りが始まります。奈良平安時代は唐風模倣時代。天皇などは宴会で大きな台盤に大饗料理(宴会の料理)を並べ、強飯(こわい)という蒸した固いご飯の周りに数々の料理を置きました。「おかず」というのはこのときの名残です。701年の大宝律令により食を司る膳職(かしわでしき)が、米穀の収納分配を司る大炊寮(おおいりょう)と料理を司る大膳職(だいぜんしき)とに分離され

### くわいの絵本を紹介

制度上も主食・副食が分かれて日本型食生活が確立します。米が納税によって国の経済基盤となりました。仏教の影響による597年の畜肉禁止令も大きな変化で、牧畜が廃れ、以降日本では稲作中心の自然体系が保たれました。894年の遣唐使廃止後、軟らかく炊いた姫飯(ひめい)を箸で食べる和風スタイルになり、日本の食生活形成時代となりました。

鎌倉時代、武士の教養として包丁式など料理の流派ができ、中国、禅寺の影響で精進料理が創意工夫され、副食の体系が確立する和食発達時代となります。曹洞宗・道元は食事作法の「赴粥飯法」(ふしゆくはんぼう)、料理系の作法や心構えの「典座教訓」(てんぞきょうくん)を著し、茶道や日本人の精神論に影響、食事作法や心構えはしつけの原点になっています。

武士が京都に入った室町時代、一汁三菜～三汁五菜が様式化、婚礼や元服などの儀式料理(本膳料理)が誕生。安土桃山時代は南蛮(イスパニア・オランダ)料理が、中国から普茶料理(葛粉や油使用、濃厚な味)が伝来します。一方、千利休による茶道から、茶の前の軽い料理、懐石料理が始まります。時系列で料理を出し、見立てなどメッセージ性を取り入れ、季節感を重んじ、その後、器が発達しました。江戸時代は和食完成時代で、酒宴形式の会席料理が発達、一膳飯屋、蕎麦屋、寿司などの外食が広がります。

明治・大正時代は文明開化で肉食が解禁となり、富国強兵策により軍隊がパンやカレーを導入します。洋風料理がトップダウンで普及、中華も入る和洋食混合時代となります。また、それまで個別の膳だったので、ちゃぶ台で家族が一緒に食べるようになりました。軍国主義の台頭による太平洋戦争下は、米穀配給統制、食糧管理法での食。第二次大戦直後は食糧不足時代でアメリカの影響が大きく、学校給食が再開され、団地が建設されて西洋風のキッチンへ変わり、椅子テーブルでの共食、核家族化が進行します。1950年代の平均寿命は先進国では最低でした。1955年以降食糧事情が好転し、



日本型食生活として栄養学的にはいい状態でした。高度経済成長期の1960年代食品が出て、食関連情報が増加します。1965年から米の生産過剰となり副食中心になり、朝食欠食や「外食」が出てきます。非常な変わり方です。1970年代に世界一の長寿国になりますが、食事の影響が大きいと思います。外食産業が展開し、生活習慣病が注目されます。大戦後は食の革命期と言ってもいいでしょう。

◆食糧自給率の低下と崩食の時代

食糧自給率は1965年に73%、1980年に53%と低下していきます。2009年以降は40%以下で、60%を輸入に頼っているということなので、海外に依存している作付面積は1245万haで国内耕地面積467万haの2.7倍に相当し、輸入により海外の土壌、栄養分、灌漑の水などを間接的に輸入していることになります。これに反して、アメリカ、カナダ、ドイツなどは自給率、農地面積が上昇しています。日本の耕地面積の狭さなど事情はあるにしても、自給率は下がりすぎかなと思います。ちなみに一日3食を和食にしたら64%の自給率に、洋食なら23%、中華なら26%。自給率を考え脂肪過多にならないためには和食がベターでしょう。

日本は、食糧をカロリー換算した供給熱量と実際に食べた摂取熱量の差が拡大しています。1人1日あたりほぼ1食分に当たる量700kcalがどこかへ消えている。それは食べ残しか捨てているかということです。H22年の日本の食品廃棄物発生量は約1700万トンでその中で食べられるのに捨ててしまう食品ロスが約500~800万トンで約30~47%に相当します。日本の食品ロスは2011年の世界の食料援助量、約400万トンの約2倍に相当するのです。

日本の食料廃棄は世界の平均食料廃棄の2倍。家庭ごみの中身は、生ごみの半分は調理で生じて、22%は手つかず、16%が食べ残しです。残飯・廃棄食品が増加している飽食の状態です。そして、コンビニ食、孤食、個食が広がります。健康志向が強まる一方で、食事の軽視、食物をもと捉える傾向が強い崩食の時代となりました。和食は世界文化遺産登録に申請する反面、日本では絶滅危惧食の状態です。

◆求められる「足を知る心」

日本人の70%の人が「料理が多い」と食べ残しています。また鮮度が落ちた、腐敗した、消費期限・賞味期限が過ぎたと捨てているのです。これらは私たちがセーブできること。京都市で食品ロスを費用換算したら一世帯あたり年間6

万円で、ごみ処理費用5千円あわせて6.5万円になりました。H23年日本予算92兆円の1割以上を捨てていることになります。世界では先進国の10億人が太りすぎて、約9.3億人(7人に1人)の人々は飢餓に苦しみ、途上国の人口は先進国の4倍なのに、食料供給量は1.5倍だけ。食料分配の不平等が問題で、「足を知る心」が求められているのです。

◆他の命をいただく

様々な食べ方がありますが、生活時間のばらつきによる「孤食」が増大し、若年層の男性35%、女性の23%が食生活に無頓着です。食べ物は他の命です。人間が一生に約9万回食べるとして米6トン(茶碗11万杯) 魚・貝3トン(アジに換算すると1万匹) 肉2.2トン(牛6頭) 野菜7.5トン(キャベツ1.5万個) 卵3.7万個。これだけ他の命をいただいているという自覚、感謝の気持ちがほしい。現在、道元禅師が「赴粥飯法」に書いた「五観の偈」(ごかんのげ)を振り返ってみることは意味深いと思います。また、自給自足生活の実践家J.シーモア、H.ジラートの提言「1.自分自身に責任を持つ 2.物事を地域レベルで済ませる 3.物事を簡潔に保つ 4.専門化を避ける 5.暴力を避ける 6.節度を守る」は、家庭生活の見直しの指標になるでしょう。

◆和食の良さの再認識と実践的な食育を

(ここで先生から受講者に「和食とは」アンケート)  
今、世界文化遺産に和食を申請中です。米中心の食事、主食と副食、四季折々の食材など和食の良さを再認識して下さい。現代の私たちの食は、大自然の営みの中にあることを忘れがちです。また、食事を自分でつくことは、五感をフル稼働したクリエイティブな行動であり、この体験が重要です。生涯を通じて自らに実践的な食育を！私は「吹田くわいを育てよう」を自らの実践的な食育のひとつとしています。

(記録:村井弘二、小田忠文、まとめ:喜田久美子)

<p><b>和食とは(特徴) 抜粋</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米中心の食事である</li> <li>・主食と副食(主菜と副菜)に分かれている 1汁3菜の基本パターン</li> <li>・主食のコメは家で炊く</li> <li>・セットメニューである (素材が異なっても調理法は同じ)</li> <li>・四季折々の食材で目で楽しむ料理</li> <li>・お箸を使う</li> <li>・器を手を持ち、口を付けて食べる</li> <li>・器は世界にまれな制約のない自由なデザイン</li> <li>・個人使用食器がある</li> <li>・銘々膳で食べる</li> <li>・素材の味・よさを活かす調理法が多い など</li> </ul>
---

## 変わりゆく吹田のまちなみ(その5)

### まちびらきから 50 年、人工と自然がせめぎあう～北千里地区～

奥居 武(藤白台在住)

北千里地区はニュータウン開発前は水の便が悪かったために人家も古江台に7戸しかなく、竹林・雑木林と耕作地がおりなす近郊農村でした。ニュータウンとしての北千里地区への入居は1964(昭和39)年、古江台、藤白台から始まり、1967(昭和42)年には北千里駅まで阪急が延伸。翌年には大阪大学吹田キャンパスへの移転が始まり、1970(昭和45)年、大阪万博を機に、新御堂筋、中央環状線などのインフラが一挙に整備されました。

それから半世紀、「オールドタウン」と化したニュータウンを、立地を生かして再生する作戦が始まりました。大量にある集合住宅群(団地)のうち、公社と駅に近い府営は建替をし、高層化して詰めた敷地に民間分譲マンションの建設が進んでいます。だいたい5階建までだった団地が、最高14階建の大きな棟に建て替わり、北側の影が落ちる部分はあけなくてはなりませんので、棟間間隔も広くなり、全体に景色が「大振り」になっています。

建替が済んだ地区ではたしかに若い家族が増え、人口も再増加に転じています。団地住民が植林した斜面の樹木や、敷地内を通り抜ける小路を保存したり、市道に歩道を新設するなど、この建替が「良い変化」になるよう、住民は事業者と話し合っていて努力しています。

藤白台の線路沿いにあるピアノ池は、ニュータウン開発の工事中に一時的な調整池として造られたもので、最初は名前もなく、藤白台の藤白公園にあるから藤白池と呼ばれていました。ある時期には危ないしボウフラがわくから埋

めてグラウンドにしてしまえという声も出ましたが、ヒメガマ刈りなどの浄化作戦が行われるようになり、いつのまにかグランドピアノのフタの形に似ていると「ピアノ池」と呼ばれ始め、ついに国土地理院の地図にも名前が載るようになり、池に面したマンションが建て替えられる際には「ピアノ池の美しさ緑彩の畔に…」と広告にまで謳(うた)われるようになりました。「ボウフラわく」って言ってたんちゃうんか? 人間はつくづく「調子いい」なあ!

北千里駅から大阪大学に続く「三色彩道」は、11月下旬に紅葉の見頃を迎えます。かつてはマッチ棒のような幼木でしたが、歳月を経て、ある時期に吹田市が剪定のやり方を変えてから見事な枝ぶりを見せるようになりました。

駅の北側にあたる青山台のUR(旧公団)の団地では、府営や公社と対照的に、おおむね「建替をしない」方向で再生策が始まりました。エレベーター付きにもならない代わりに、「ニュータウンオリジナル」の風景が、あと20年は見られることになりそうです。「ニュー」でなくなっても目が離せないニュータウン。これからも「まちづくり」の実験は続きます。



【定点比較】2006年11月、藤白台3丁目／2011年11月、藤白台3丁目



【定点比較】1983年2月、三色彩道／2007年11月、三色彩道

※「1983年2月、三色彩道」は大阪工業大学・吉村英祐教授の提供による。



# 観光マップ「あलック吹田」の改訂準備スタート

## 第1回調査会 北千里コース

まちなみ委員 岡村昇二

吹田市発行の観光マップ「あलック吹田」はすいた市民環境会議が企画・編集を担当して初版を2001年4月に制作し、その後の改訂にも携わってきました。最新改訂版(2011年3月)の発行から既に3年が経過しているため、現在次の改訂準備をしています。その一環として、まちなみ委員会が既存コースの再検討のため、現地調査会をスタートさせました。

調査会の初回は去る3月28日(金)にまちなみ委員6名で、北千里コースを歩きました。「あलック吹田」に記載されていないものを主に以下説明します。

①北千里駅改札口の内側に設置されている「IEEEマイルストーン」の標示：北千里駅の自動改札システムは世界で初めて実用化され、昭和42(1967)年に稼働しました。この技術が画期的な技術であるとIEEE(アメリカに本部を持つ世界的な電気電子技術者協会)が「IEEEマイルストーン」に認定したことを示す表示板があります。

②北公園内苗圃の花壇：千里金蘭大学の正門南部にある苗圃(苗を育てるエリア)にボランティアが中心となって作った花壇があり、今の時期にスイセンやパンジーが咲いていましたが、これからチューリップも彩を添えるでしょう。(写真下)



③千里北公園尾根道の桜並木：モニュメント「風の道」から北に200m余り続くソメイヨシノの並木があります。よく成長し、シーズンには桜の名所に数えられる場所です。

④青山台の八重桜並木：青山台4丁目の戸建て住宅地区の東側面を南北に走る道路に沿って八重桜の並木があります。派手なソメイヨシノが散ったあとで、ボリュームのあるこの花は存在感があります。



⑤青山台フェニックス遊園からの眺め：千里ニュータウンで標高が一番高い遊園(99m)で、眺望が良いところです。(写真上)

⑥青山台2丁目の110段の階段：青山台小学校西の斜面、高低差約20mあります。

(⑤⑥は北千里駅から遠いこともあり、コースに取り入れるか議論の分かれるところです。)

⑦ふじのき公園：藤白台センターの近くにあり、藤白公園と並ぶ大きな公園なので、ルートに取り入れが容易なところです。

⑧お昼の食事とコーヒータイム：食事や喫茶もまち歩きの一環として考え、店の探索もしてきました。お昼の食事にディオス北千里内の4店(千里一番、中華 TenTen、太鼓亭、ティールームまほろば)、コーヒータイムには近隣センターの喫茶店(青山台のメルカード、藤白台のブーケ、古江台の花)が紹介出来そうです。

調査結果をもとに新規コースに取り入れるか検討するとともに、季節・時間の適切な写真の収集もこれからの仕事となります。さらに、今年11月まで月2回(第1木曜日と第4金曜日)のペースで現地調査会を開催しますから、会員のみさんも新しい視点で検討に加わって頂きたいです。

・今後の予定(9:30集合 小雨決行)

- 第4回 4/25(金) 南千里コース 南千里駅改札前
- 第5回 5/01(木) 佐井寺コース 千里山駅東改札前
- 第6回 5/23(金) 春日・緑地公園 桃山台駅南改札前
- 第7回 6/05(木) 江坂コース 江坂駅北改札前

・参加費 会員無料 非会員 200円

・申込先 松岡 要三 FAX 06-6384-8168

携帯 090-6974-1058

E-mail matsukayh3@sutv.zaq.ne.jp

# 千里ニュータウンの「ちっちゃい草地」

## そこは 生物多様性のホットスポット

生きもの委員会 平 軍二

### 1. チガヤ草原

千里ニュータウンには住戸間の空き地や、河川・道路・公園の傾斜地などに規模の小さい草地が多い。この草地では初夏にチガヤが群生しており、ウツボグサの花が咲き、そしてワレモコウ・ツリガネニンジン・カナビキソウ・ミヤコグサなどが観察できる。このような植生環境はチガヤ草原と総称され、昔から里地にあった田んぼの畦畔（けいはん、あぜくろ）、ため池の堤防などに見られた風景である。このチガヤ草原が千里ニュータウンの空き地に再現されたのは、ニュータウンが建設されて以来 45 年間もの長い間、空き地の草刈が年 2 回実施され、継続されてきたことによる。



### 2. 吹田の野草・希少種 5 種

すいた市民環境会議は 2004 年吹田の野草マップを作つて以来、野草の中で一番美しい花、「ウツボグサの観察会」を北千里駅周辺のチガヤ草原で開催してきた。観察会で名前のわからない野草があり、大阪自然史博物館に確認した

結果、大阪府で 70 年ぶりに再発見の「ヤマサギソウ」とわかった。これが発端となり、次々に珍しい野草が発見され、中でも、下表の 5 種は吹田市のみならず大阪府でも絶滅危惧種であり、全国レベルの希少植物であった。

吹田の希少種	環境省	大阪府
ヤマサギソウ	ランク外	絶滅ではなく、大阪府には元々なかったとされていた
イヌセンブリ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
スズサイコ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類
アイナエ	ランク外	絶滅
(キキョウ)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
(ヒメボタル)	ランク外	準絶滅危惧

注1 キキョウを（ ）書きとしたのは、既に 10 年以上野草の中で花を咲かせているものの、当初、千里ニュータウンにお住まいの方が植栽されたのでないかとの懸念が残っているためである。

注2 吹田市天然記念物第 1 号の「ヒメボタル」を最下欄に示したが、ヒメボタルとの比較で今回の野草 5 種の希少性がわかってもらえると思う。

### 3. 大阪自然史博物館学芸員による

#### 植生調査と全国レベルでの公表

千里ニュータウン内の草地の重要性を知った大阪自然史博物館学芸員(植物担当)の長谷川匡弘氏・横川昌史氏は、昨 2013 年に 2 回千里に来られ、この草地を調査された。

両氏は約 1 ha (1 万㎡) のこの北千里のチガヤ草原に 1 m 四方のコドラート(注3) 29 ヶ所を設置し調査した。調査地には「ちっちゃい草地」と名づけ、各コドラートから確認された植物の特徴的から、A~D の 4 タイプに分

ちっちゃい草地の植物相・植生の特徴

調査区ごとの組成表：現地の様子と組成から 4 タイプに分類

種名	タイプ A										タイプ B										タイプ C										タイプ D									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	
チガヤ	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	7	8	7	8	7	8	7	8	7	8
ウツボグサ	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	7	8	7	8	7	8	7	8	7	8
ワレモコウ	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	7	8	7	8	7	8	7	8	7	8
ツリガネニンジン	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	7	8	7	8	7	8	7	8	7	8
カナビキソウ	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	7	8	7	8	7	8	7	8	7	8
ミヤコグサ	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	7	8	7	8	7	8	7	8	7	8
その他	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	7	8	7	8	7	8	7	8	7	8

代表的な植物のみを示した。数字は観測数であり、空白の植物は出現種分析で発見された。

上表 横川昌史氏作成資料より転載

けられた。

タイプA ネザサ、ネコハギ、ヤマサギソウ、ヒメヤブラン

タイプB ウツボグサ、ワレモコウ、メドハギ

タイプC アリノトウグサ

タイプD チゴザサ、ノテンツキ、スギナ

ヤマサギソウ生育地はタイプA、通常、野草の生育を妨害すると思われるネザサと共存していることが、不思議である。

この結果は2月23日(日)大阪自然史博物館で開催された関西自然保護機構(KONC)2014年度大会で横川学芸員によりポスター展示で発表された。さらに、3月14日(金)~18(火)に広島市で開催された日本生態学会においても横川学芸員が発表され、吹田の希少種が全国レベルで公開されることとなった。

#### 4. 当会は大阪の草原展・すいた環境フェスタで展示

これに先立ち、1月30日(木)31日(金)に西天満エートス・ステーションで開催された「大阪の草原展」で希少

種の写真を展示した。さらに

4頁で紹介した通り2月8日(土)に開催された「すいた環境フェスタ2014」においても、吹田の希少種4種の写真を展示し、千里ニュータウンを中心とするちっちゃい草地の重要性をPRした。



#### 5. 吹田市における生物多様性のホットスポット

生物多様性が高いにもかかわらず、人類による破壊の危機に瀕している地域を「生物多様性ホットスポット」という。それは地球規模での定義なのだが、「千里ニュータウンのちっちゃい草地は、吹田市における生物多様性ホットスポットだ」といえる。

この吹田市のホットスポットの一部は大阪府所有地であり、大阪府は利用計画がないとして売却する方向にある。希少種が発見されて以来、大阪府及び吹田市の担当部署に対し、すいた市民環境会議は生物多様性の観点から希少種の生息地を守ってほしいことを説明してきているが、売却をストップすることは厳しい状況にある。現在、次善の対応策として府有地にある希少種を、吹田市所有地に移植することを検討中である。

また、大阪自然史博物館は昨年、調査地の土壌を採取しているが、分析費用がなくそのままになっていた。この土壌分析費用を含めた希少種関連の費用、そしてすいた市民環境会議全般で費用が必要とする活動に資するため、阪急阪神ホールディングス「未来のゆめ・まち基金」助成金に応募した。

今後は会員の皆様のご協力を得ながら、「吹田の希少種、そして吹田の生物多様性ホットスポット」を守っていきたいと思っている。

注3) 植生調査は普通、コドラート法で行われる。その地域、区画の植生の特徴が最もよく出ていると思われる場所を選び、そこに正方形の枠を設置し、その内側を標本として調査を行う。

(前頁の表の見方)

- ・チガヤは春のベース植物、メリケンカルカヤは秋のベース植物です
- ・+と数字1~5は被度(分布の多さ)を表す  
被度2:調査面積の1/10~1/4  
被度5:調査面積の3/4以上

## ●エコクッキング 買い物のポイント

生活環境委員会 喜田久美子

2月16日(日)山田駅前の夢つながり未来館「ゆいぴあ」調理室で関大生とエコクッキングをしました。昨年からの買い物という行動をプログラムに取り入れたので「食」を通しての経験は一層深くなっています。でも、時間が足りなくて、ちょっと忙しい講座でした。

調理の前に、一般のスーパーで食材の買い物。まず、健康と環境に配慮した食材を選ぶポイントを示します。下表はその一部ですが、近所のスーパーの食材の展開は幅広く、学生たちは与えられた食費と時間の中で、迷いつつ選び取らねばなりません。買い物は消費者の選択という行為による意思表示。グループに分かれてチャレンジし、しっかり悩みます。買物を済ませたら、どこに注目して選択したか披露します。

今回は野菜で有機や無農薬、減農薬が見つからなかったようで、「〇〇さんの野菜」とか、「私が作りました」と顔写真が表示してあるも



たっぷり学び、たっぷり食べました。これからの生活に活かしてね。

のを購入。しかしその表示で、果たしてどこまで生産者と消費者の間に信頼関係が生まれているのでしょうか。また、牛乳には値段の差が。超高温殺菌(120℃ 2秒)は1ℓ 200円程度でしたが、学生が選んだのは低温殺菌牛乳(65℃ 30分)の328円や258円。超高温殺菌では熱に弱いタンパク質が壊れ栄養や風味が変わってしまいます。栄養のこと考えたらブランドでなくともちょっといいものを選んだほうがお得かも。学生からは「スーパーは予想以上に輸入品が多かった」「これからは気をつけて買います」「自炊に役立つ知識がいっぱい」と感想をいただきました。(スタッフ:小田・中村・西川・喜田)

品目	買い物 選択ポイント
豚肉	国内産豚
	遺伝子組み換え餌を使用していない
	抗生物質、ホルモン剤を投与していない
ウインナー	発色剤の亜硝酸塩不使用・無塩せき
	添加物を使用していない
青菜	旬のもの
	国内産・なるべく大阪に近い産地
	有機栽培・無農薬・減農薬
卵	産地の表示がある
	餌の表示がある(遺伝子組み換えでないなど)
	放牧卵
スープの素	化学調味料不使用 (アミノ酸、グルタミン酸不使用)
白ゴマ	国内産
	漂白剤を使用していない
小麦粉	国内産

注) 民衆交易とはフェアトレードより深く、フェアだけでなく、物の生産・流通・消費を通じて、作る人と食べる人が直接出会い、共に支えあう関係性を築くことを目的とした貿易。

その事例として「砂糖」を学生に紹介しました。



ひとつひとつ  
選択ポイント  
を検討しながら  
買い物。

本日の献立は、クリームシチュー(添加物の多い市販のルーは使用せず小麦粉と菜種油、牛乳で作りました)、黄色野菜サラダ、菜飯、プリン(卵と牛乳、民衆交易の砂糖で作りました)。

## 第2回 観梅の会

会報委員 松岡要三

お天気に恵まれた3月9日(土)に博物館3階前芝生広場とそれに隣接する野草園で第2回観梅の会が開催されました。主催は博物館と紫金山みどりの会、約80名が参加。世話人の伊藤さんの司会で藤井副館長の挨拶で始まり、紫金山みどりの会の金谷事務局長から「紫金山みどりの会の活動について」、文化財保護課西本主幹から「紫金山公園の自然・野草の解説」がありました。その中で「吹田紫金山公園の野草ホームページ」を紹介されました。<http://www.7b.biglobe.ne.jp/pieris/index.htm> 参照

第2部は野草園と梅林の散策。「一句どうぞ」と紙を渡されましたが……。梅こぶ茶、抹茶のサービスも。



西本主幹 伊藤さん 藤井副館長 金谷事務局長



竹が侵蝕し荒れた休耕地が2011年秋から始まった紫金山みどりの会の手入れで見事な野草園と梅林に！

## 吹田くわい保存会の北村会長をしのぶ会

会長 小田忠文

吹田くわいは戦後の宅地開発や除草剤によって絶滅の危機におちいり昭和30年代には「まぼろしの野菜」といわれるまでになったそうです。

昭和38年ころから吹田くわいを保護する活動がはじまり、昭和60年(1985年)に吹田くわい保存会が生まれました。北村英一さんは初代会長としてそれ以後30年近くにわたって吹田くわいの普及活動をなさってきました。

すいた市民環境会議が発足した2年後の1999年夏、はじめて旧庄屋屋敷の西尾家住宅から吹田祭りで慈姑奉納行列が出発しました。すいた市民環境会議のメンバー数名もこの行列に参加しました。

2000年には北村さんから吹田くわいの種いもを頂戴して、吹田市から借りた休耕地で大量の吹田くわいを育てました。2006年に開催した連続講座「吹田くわいを調べる、食べる」では北村さんにずいぶん助けていただきました。

その講座から「吹田くわいネットワーク」という組織が誕生して吹田市以外にも吹田くわいにかかわる人の輪が広がりました。



そのような中、昨年11月に北村さんは逝去されてしまったのです。昨年の吹田祭りがご一緒した最後の場面となってしまいました。

2月15日に開かれた北村会長をしのぶ会には約30人が集まって一人ずつが1~2分で思いを語りました。北村さんの遺影を前にして心から和んだ

ひとときを過ごしました。北村さんの方がらが満ちあふれた会でした。



## 事務局よりお知らせ

### ①第14回 通常総会のご案内（詳細は次号（6月号）でお知らせします）

日時：6月7日（土）午後2時より 場所：メイシアター第1会議室

総会終了後 講演会（終了予定5時）と懇親会（終了予定8時）を予定しています。

### ②下記の方から寄付を戴きました。有難うございます。（敬称略します）

伊藤忠征 上田万吉 海原登美子 三崎敬二 西川整子 下村敬三 上村和功 松岡要三  
ト部弘信 水川晶子 金山忠 中野武 田中隆三 鈴木真世 長谷川美津代 山本盛夫  
川井悠子 岩溪恭子 梅原千鶴 塩田敏治 大澤浩子 越智清光 加藤俊二 安田直子  
村井弘二 匿名1名 以上26名 合計124,000円

但し 2013年4月1日から2014年3月15日まで

（会員会計 小田信子）

### ③2014年度会費納入のお願い

- ・同封の振込用紙で振込下さい。
- ・封筒の宛名ラベル（右）に記入の年度分までの会費が納入済みです。（12年度の方は2年分お願いします）
- ・出来れば寄付も合わせてお願いします。

（事務局 中村小夜子 TEL 090-8375-0647）

565-0851

吹田市内本町

〇丁目××-△

吹田 太郎 様

正会員 13年度

### ★こんなフォーラムが開催されます

## 「2014シャボン玉フォーラム in 大阪」

せっけんの利用を推進する団体や個人の集まり「せっけん運動ネットワーク」が2日間にわたり、大阪でフォーラムを開催します。せっけんを糸口に広く環境・暮らし・命について考えようというもの。ぜひ、ご参加ください。ぜひ、ご参加ください。

受け入れ団体 生活クラブ生活協同組合大阪



### ●4月25日（金）13:00～17:10 全体会 大阪市中央公会堂大集会室（最寄駅地下鉄「淀屋橋」）

13:00～オープニング

13:50～基調講演「脱原発・再生可能エネルギー中心の社会へ

～全国各地に市民・地域共同発電所をつくろう～

講師 和田武さん（元立命館教授・自然エネルギー市民の会代表）

15:10～パネルディスカッション「広がる市民・地域共同発電所 その意味と展望」

谷畑英吾さん（滋賀県湖南市長）「地域自然エネルギー基本条例の制定について」

清水 泉さん（生活クラブ首都圏リージョナル自然エネルギープロジェクト）「風車による市民共同発電所」

伊藤幸蔵さん（山形県米沢郷牧場）「山形米沢郷バイオマス発電」

豊田陽介さん（NPO 法人気候ネットワーク）「市民共同発電所全国調査」

### ●4月26日（土）午前 分科会 最寄駅 地下鉄「天満橋」

（①～④10:00～12:00 ドーンセンター）

①石けん学習会とナチュラルクリーニング

②エコライフ・エコクッキング

③「がっこう」の取り組み

④洗濯するなら雨水だ！

（⑤⑥ 9:30～12:00 エル・おおさか）

⑤なぜ石けんか

⑥市民・地域共同発電所しゃべり場

参加費：1日でも両日でも1,000円。（振込）

締切：4月10日（木）

満席の場合はお断りすることがあります。

申込み：喜田あてご連絡ください。

TEL・FAX：06-6330-0305（18時以降21時まで）

●26日13:30～オプションツアー「大阪城公園自然観察会」講師：平 軍二（日本野鳥の会評議員・大阪支部幹事）（当会理事）分科会参加の場合のみ参加可能です。別途参加費が必要です。